

2021 年度 日本学生支援機構奨学金返還免除

## 「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」作成時の注意事項および研究科独自書類について

### 1. 「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」作成時の注意事項

生命科学研究科院生の方は、以下に従って「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」を作成してください。「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」に記載されている業績のみが採点対象となります。

#### 1) 業績の記載箇所について

① 受賞歴(学内、学外):

「1. 学位論文その他研究論文」【研究論文】・【学会での発表】にて、受賞・表彰されている業績については、左側の「受賞・表彰」欄に○を記入してください。

② 学会(国内学会、国際学会)、シンポジウム、研究会における発表:

「1. 学位論文その他研究論文」【学会での発表】に記入してください。

③ 学術雑誌等または商業誌における解説・総説:

「4. (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物」に記入してください。

#### 2) 研究会の定義について

「研究会」は、一般に小規模の研究発表会をいいます。国内学会、国際学会、シンポジウムに該当するものは含みません。

(研究会の例) ○○研究会、ライスボールセミナー、ASTER 発表会、関西四大学ポスター発表会等

#### 3) 対象となる期間について

生命科学研究科募集締切日までの発表を点数化の対象とします。ただし、投稿した論文が受理された場合(論文掲載決定済み)や学会発表が確定している場合、出願締切日以降の日程であっても業績に含めます。

#### 4) 日本学生支援機構で評価対象外となる業績について

以下の業績は、今回は評価対象となりませんので、「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」および「研究科独自書式(Ri-SEARCH システムで出力した研究業績報告書)」には記入・出力しないでください。

※Ri-SEARCH システムに入力してもかまいませんが、今回は出力しないでください。

・「研究論文、学会、シンポジウム、研究会での発表」以外の受賞歴

(例) 大学院リサーチプロポーザルコンテスト大賞、GRGP 海外活動優秀賞等

### 2. 生命科学研究科独自書類「研究業績報告書」の提出について

生命科学研究科院生の方は、選考上、追加で独自書類「研究業績報告書」の提出が必要です。「研究業績報告書」は、研究科における選考時に、「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」の内容を確認するための参考資料として取り扱います。日本学生支援機構には提出しません。

## 研究科独自書類:Ri-SEARCHシステムで出力した「研究業績報告書」

「立命館大学若手研究者学術・キャリア情報検索システム(Ri-SEARCH)」から出力してください。

### 「Ri-SEARCH」入力・出力方法

STEP1 以下 URL より「Ri-SEARCH」に RAINBOW ID でログインする。

<https://gyoseki-web.ritsumei.ac.jp/ritgsap/P300>

STEP2 「研究活動」「研究業績」「キャリア」「院生・研究者情報」の項目をクリックし、必要事項を入力する。

※操作方法については、以下マニュアルを参照すること。

<http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=493160>

※「研究業績報告書」に反映させたい情報のみ入力する。

(記入・入力例) <http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=496732>

※【研究会・シンポジウム】の項目は、PDF 出力版では【シンポジウム】と誤表記されるため、演題の後にカッコ書きで「(研究会)、(シンポジウム)」と分類を記載すること。

※事前に教員が確認することがあるため、「研究業績報告書」(PDF 版)に反映させる予定の業績は全て「公開可」にしておくこと。

### ＜研究科独自書式作成時の注意事項＞

1) 研究科独自書式と「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」に記載の業績が一致して、過不足がないようにしてください。なお、「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」に記載し忘れた業績は採点対象外になります。

※以下の業績は、今回は評価対象となりませんので、「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」および研究科独自書式には記入・出力しないでください(Ri-SEARCH システムに入力してもかまいませんが、今回は出力しないでください)。

・「研究論文、学会、シンポジウム、研究会での発表」以外の受賞歴

(例) 大学院リサーチプロポーザルコンテスト大賞、GRGP 海外活動優秀賞等

2) 根拠資料は、募集要項に記載の分のみの提出で結構です。研究科独自書式用に別途用意する必要はありません。

3) 各業績について、根拠資料の番号(「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」に記載した資料番号)を明記してください。

4) 自身の氏名に二重下線、自身を除く生命科学研究科の著者に下線を引いてください。

5) 国際会議、国内学会、シンポジウム、研究会等の業績について、発表者の氏名の前に「○」印を記入してください。

以上

＜生命科学研究科独自書式に関するお問い合わせ先＞

生命科学部事務室 大学院担当

Tel: 077-561-5021

Email: [in-gsls@st.ritsumei.ac.jp](mailto:in-gsls@st.ritsumei.ac.jp)

## 研究業績報告書

**研究業績**（下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたものがある場合には項目を区別して記載すること。なお、記載する項目が多数にわたる場合は、主なものに絞って記載すること。）

(1) 学術雑誌等(紀要・論文集も含む)に発表した論文または著書（査読の有無を区別して記載すること。

査読のある場合は、印刷済および採録決定済みのものに限る。

査読中・投稿中のものは除く

※ 著者(申請書を含む全員の氏名を、論文を同一の順番とする)、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁—最終頁、発行年をこの順で記入すること。  
なお、著者の所属・職については脚注に記載すること。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること）

著者(申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること)、題名、発表した学会名、場所、年・月を記載すること。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表 (3)と同様に記載すること

(5) 特許 (申請中、公開中、取得の別を明記すること。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述でよい。

(6) 受賞歴・その他の業績 (修士学位論文がある場合は、記載すること。)

(1) 学術雑誌等(紀要・論文集も含む)に発表した論文または著書

【査読あり】

1)

【査読なし】

【著書】

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表

【口頭・査読あり】

【口頭・査読なし】

1)

2)

3)

【ポスター・査読あり】

【ポスター・査読なし】

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

【口頭・査読あり】

1) 立命次郎、「東アジアにおける\*\*\*\*」、●●学会、2021年4月

【口頭・査読なし】

1) 立命 太郎、「sample」、sample、2021年4月

【ポスター・査読あり】

【ポスター・査読なし】

【シンポジウム】

(5) 特許

1)

(6) 受賞歴・その他の業績

【受賞歴】

1) ○○賞

【修士学位論文】

【博士学位論文】

申請者名: 立命 院生